


岩手県被災地コミュニティ支援アドバイザー

船戸 義和（ふなと よしかず）

[略歴]	1978 年生まれ。東京・埼玉育ち。 SIT Graduate Institute 卒業（米国、修士）。 2011 年 4 月から岩手県内外で被災地域のコミュニティ支援を实践。 ● NPO 法人いわて連携復興センター コミュニティアドバイザー ● 岩手大学 客員准教授
[主な取組・実績]	岩手県内外 30 か所以上の災害公営住宅で住民主体のコミュニティ形成を支援し、自治会設立・運営支援に従事。消防・防災訓練などを用いて住民の参画機会を創出する「住民総参加」を提唱して人材育成に注力。長期的視点による伴走支援で地域力を強化し、住民同士の「緩やかな見守り・共助」が「公助」との相乗効果を生む地域運営を实践。課題が集中する災害公営住宅において、数少ない好事例を生む。沿岸市町を中心に、話し合いによる合意形成の文化づくり、学生等の参画による地域づくり・交流人口増加にも取り組む。
[委員・講師等]	● 大船渡市 災害公営住宅コミュニティ形成アドバイザー(2015～2025) ● 大槌町 地域アドバイザー(2016～2021) ● 山田町 地域コミュニティ形成アドバイザー(2016～2025) ● 岩手県社会福祉協議会 東日本大震災被災者実態調査研究委員会 副委員長(2016・2020・2025) ● 岩手県 中長期的な見守り等支援体制のあり方検討会 委員(2018・2019) ● 盛岡市 復興推進アドバイザーリーボード 座長(2021～2025) ● 山田町 総合計画審議会 委員(2025)
[その他]	活動紹介(参考動画) YouTube チャンネル 「岩手大学 復興・地域創生ユニット」 

岩手県被災地コミュニティ支援アドバイザー

向野 修得 (むくの なおのり)

[略歴]	広島県出身。東京都立大学卒業、青山学院大学専門職大学院修了。 大学院修了後、NPO のプログラム参加を経て、東日本大震災の復興支援を契機に一般社団法人 RCF に入社。国内外の企業等による復興支援事業のコーディネーターやマネジメントを担い、復興支援員の導入・研修事業、プロボノ活用、沿岸地域の産業活性化等に幅広く従事する。 2015 年より岩手県釜石市へ移住。高校生のキャリア教育事業「釜石コンパス」を立ち上げ、事務局として地域と学校をつなぐ役割を担う。 平成 29 年度より始まった被災地コミュニティ支援コーディネーター事業において、沿岸市町のコミュニティ支援関係者への活動サポートや伴走支援に尽力した。
[主な取組・実績]	●自治会等のコミュニティ形成支援・伴走サポート 被災地コミュニティ支援コーディネーター事業を通じ、山田町や宮古市などの沿岸被災地域において、社会福祉協議会やコミュニティ支援員と緊密に連携。自治会活動等の支援や、現場の支援者向けの研修会の企画・運営に携わる。「支援者を支える伴走者」として活動。「住民の自主性や想いを尊重し、支援者が入りすぎない・引っ張りすぎない」というスタンスで、住民自らがやりたいと思うタイミングや発意を引き出すためのノウハウを、現場の支援員へアドバイスしている。 ●地域づくりへのサポート 釜石を中心に、地域づくり団体など多様なステークホルダーが関わる組織の中で、祭りやイベントの開催などにおけるマネジメント・ディレクションを実施
[委員・講師等]	釜石市 未来づくりプロジェクト リーダー 岩手県立釜石高等学校学校運営協議会委員、SSH（スーパーサイエンスハイスクール）運営指導委員 まちづくり団体「ネクスト釜石」メンバー
[その他]	